

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	会計情報システム		
英文授業科目名	Accounting Information System		
開講年度	2006年度	開講年次	2年次
開講学期	4学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-選択科目		
開講学科・専攻	システム工学科		
担当教官名	田尻 慶太		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
keita.tajiri@jp.pwc.com	

【主題および達成目標】
<p>会計情報システムとは、企業の事業活動における取引情報や残高情報を処理又は管理するための仕組みのことをいいますが、その最終成果物である決算書（財務諸表）にはどのような情報が集約されているのかを知らなければ、有効なシステム構築を行うことが出来ません。そこで、この授業では決算書の読み方、事業活動との繋がりを理解することを目標とします。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
特になし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特になし

【教科書等】
<p>参考図書： 日本経済新聞社編『財務諸表の見方』（日経文庫） 川口勉著『Q&A経営分析の実際』（日経文庫） 中央青山監査法人編『よくわかる会計情報システム』（税務経理協会）</p>

【授業内容とその進め方】
<p>まず、学生諸君が簿記にも会計にも触れたことがないという前提で、決算書の読み方（構造）を勉強します。その上で、決算書を作成するために事業活動の結果をどのように会計処理するかを理解してもらい、最終的には、決算書から読み取れる企業の経営成績・財政状態の分析手法を勉強してもらいます。</p>

電気通信大学 平成18年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

席日数と期末に実施するテストの点数により評価します。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けません。質問等はメールで受け付けます。

【学生へのメッセージ】

今後就職先を選別する上でも、将来経営者となり経営判断をする上でも、また、株式投資を行う上でも、決算書を読めなければ正しい判断を行うことができません。そこで、決算書を正しく読めるための基礎を勉強しましょう。

【その他】